

長島銀 加藤銅

男子500mのフラワーセレモニーで、肩を組み喜ぶ2位の長島圭一郎選手(左)と3位の加藤条治選手=五輪オーバル (共同)

スピードスケート男子500



日本勢 初メダル



【バンクーバー共同】

バンクーバー冬季五輪第4日の15日(日本時間16日)、スピードスケート男子500mで長島圭一郎選手(27)が1分9秒98で銀メダル、加藤条治選手(25)が日本電産サンキ

信じられない

長島圭一郎選手の話
1回目6位からで信じられない。2回目は転んでもいいと思って、飛ばしていた。

かなり悔しい

加藤条治選手の話
万全の状態で臨み、てっぺんを取れなかったのがかなり悔しい。2回目はほとんど突っ込んでいくつ

ヨールが1分10秒01で銅メダルを獲得した。今大会の日本選手団初メダルで、ともに五輪で初のメダル獲得。

前回トリノ大会では長島選手は13位と敗れ、世界記録保持者として臨んだ加藤選手は6位に終わっていた。スピードスケートでは、1998年長野五輪男子500mで金メダルの清水宏保さんが、2002年ソルトレークシティー五輪でも銀メダルを取って以来、2大会ぶりのメダル。同一種目の複数メダルはアルベールビル五輪男子500mで黒岩敏幸さんが銀、井上純一さんが銅を獲得した例がある。

他の選手も

橋本聖子日本選手団団長の話
よかったです。これで責任をまず一つは果たせた。日本はメダルを取れるチャンスのある種目がいっぱいある。これをきっかけに他の選手もチャンスをつかんでほしい。